

2010 年度
E A S 機器の市場規模に関する調査
報 告 書

2011 年 6 月

日本 E A S 機器協議会
社団法人日本リサーチ総合研究所

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収結果	2
4. 本報告書をみるにあたって	3
第2章 調査結果	4
1. E A S機器の設置台数	4
2. E A S機器の設置台数（店舗別設置台数とその割合）	5
(1) 店舗別設置台数	5
(2) 店舗別割合	9
3. E A S機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合）	10
4. E A S機器の設置台数（動作方式別設置台数とその割合）	11
(1) 動作方式別設置台数	11
(2) 動作方式別割合	12
5. E A Sタグの出荷数量	13
6. E A Sタグの出荷数量（種類別出荷数量とその割合）	14
(1) 種類別出荷数量	14
(2) 種類別割合	15
7. E A S機器の出荷金額	16
8. 保守費の金額	17
9. ケーブル式盗難防止機器の出荷金額	18
[資 料]	19
参考図1 E A S機器の設置台数（全体・店舗別）	20
参考図2 E A S機器の設置台数（全体・動作方式別）	20
参考図3 E A Sタグの設出荷数量（全体・種類別）	21
調査票	22

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、EAS（Electronic Article Surveillance：電子商品監視）機器の市場規模を把握し、今後のEASシステム・機器の普及促進のための基礎資料に資することを目的とする。

2. 調査の方法

日本EAS機器協議会の会員企業（22社）、及びEAS機器を製造・販売している非会員企業（4社）、あわせて26社に対して、アンケート調査（「2010年度EAS機器の市場規模に関するアンケート」）を実施した。

アンケート調査の概要及び調査項目は、下表で示したとおりである。

<アンケート調査の概要>

○調査対象	日本EAS機器協議会の会員企業（22社） EAS機器を製造・販売している非会員企業（4社）
○調査対象数	上記の26社
○調査方法	郵送調査
○調査期間	2010年12月16日～2011年2月21日

<設問項目>

- 問1 EAS機器の設置台数
- 問2 (1) EAS機器の設置台数（店舗別割合）
(2) EAS機器の設置台数（ステッカー貼付台数の割合）
- 問3 EAS機器の設置台数（動作方式別割合）
- 問4 (1) EASタグの出荷数量
(2) EASタグの出荷数量（種類別割合）
- 問5 EAS機器の売上（出荷金額）
EAS機器の売上のうち、保守費
- 問6 ケーブル式盗難防止機器の売上（出荷金額）
- 問7 日本EAS機器協議会に対する要望・意見

（※詳細については巻末資料の「調査票」をご参照ください。）

3. 回収結果

回答企業数：17社 回収率：65.4%

<回答状況>

NO	企業名	回答の有無
1	アイデックコントロールズ株式会社	○
2	エム・ケー・パビック株式会社	○
3	株式会社エスキューブ	○
4	株式会社コージン	—
5	株式会社ジーネット	○
6	株式会社ジャストコーポレーション	—
7	シグマ株式会社	—
8	住友スリーエム株式会社	○
9	西武産業株式会社	—
10	高千穂交易株式会社	○
11	株式会社チェックポイントシステムジャパン	○
12	株式会社テクノ・エンジニアリング	—
13	株式会社トスカ	○
14	ユニチカ株式会社	○
15	松尾産業株式会社	○
16	株式会社三宅	○
17	ACTUNI 株式会社	○
18	ユニパルス株式会社	○
19	チェスコムアドバンス株式会社	○
20	グンゼ株式会社	○
21	タカヤ株式会社	○
22	株式会社店舗プランニング	—
23	株式会社サンモニター	○
24	保安電子株式会社	—
25	スキャンマチック販売株式会社	—
26	アドバンスセキュリティ株式会社	—

4. 本報告書をみるにあたって

(1) 本報告書における数値

本報告書では、2008年度～2010年度の3年間の実績をまとめている。

各年度の数値は1月～12月の実績を合計したものである。

※昨年度までの調査では、各社の決算月にあわせて決算数値を調査していたが、本年度調査については、データの整合性を高め、直近の市場状況を把握するために、上記の期間に統一して数値を把握した。

また、設問によっては、「該当なし」や「資料なし」などの理由で無回答の場合があり、その分は集計に含まれていない。なお、あくまで各数値は各社からの数値をそのまま集計したものである。

(2) 時系列推移をみるための各年度の数値

本報告書では、2010年度（2010年1月～2010年12月）の数値だけでなく、時系列の推移をみるために2009年度（2009年1月～2009年12月）と2008年度（2008年1月～2008年12月）の数値もあわせて掲載している。

時系列の推移をみるにあたり、各年度の数値の回答数が異なる場合がある点にご留意ください。

(3) 本報告書におけるEAS機器の設置台数

本報告書におけるEAS機器の設置台数は、メーカーまたは（海外製品の）マスターディストリビューターのエンドユーザーへの設置台数としている。

また、天井式、マット式、ゲート式とも、ゲート（アンテナ）1機につき1台とカウントしている。（例えばゲート式の場合は、設置箇所（出入り口）が1箇所でもゲートが2本の場合は2台、3本の場合は3台、4本の場合は4台とカウントする。）

(4) アンケート調査における図表の見方

本報告書では、アンケート結果を図表で示しているが、作図・表の都合上、設問や回答の選択肢を省略している場合があるので、巻末の「調査票」をご参照ください。

第2章 調査結果

1. E A S 機器の設置台数

(図表 1 参照)

<2010 年度の状況>

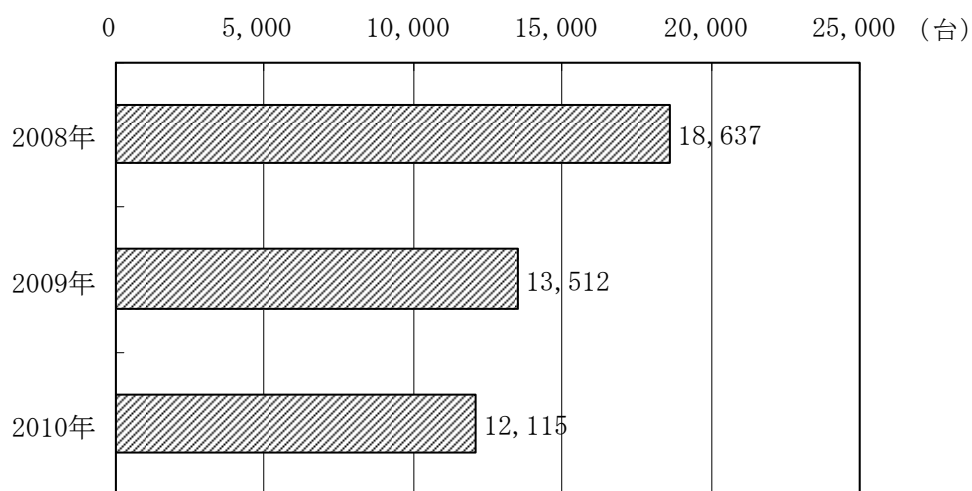
○2010 年度の E A S 機器の設置台数は 12,115 台である。

<2008 年度からの推移>

○設置台数は、2008 年度から大きく減少しており、2009 年度は対前年度で 5,125 台の減少、2010 年度は 1,397 台の減少である。

○伸び率でみると、2009 年度が 27.5%の減少、2010 年度が 10.3%の減少である。

図表 1 E A S 機器の設置台数



<設置台数及び伸び率>

	2008 年度	2009 年度	2010 年度
設置台数 (台)	18,637	13,512	12,115
伸び率※ (%)	-	▲27.5	▲10.3

※伸び率 = (当年度設置台数 ÷ 前年度設置台数 - 1) × 100

2. E A S 機器の設置台数（店舗別設置台数とその割合）

（1）店舗別設置台数

（図表 2、図表 3 参照）

<2010 年度の状況>

- 店舗別に設置状況をみると、「その他」を除けば「ドラッグストア」（2,137 台）の設置が最も多く、以下、「衣料品、ブランドショップ」（1,596 台）、「総合スーパー」（1,462 台）、「家電量販店」（1,265 台）、「A V ・メディアソフト店」（1,528 台）、「ホームセンター」（883 台）などが続いている。
なお、「その他」は 2,127 台である。

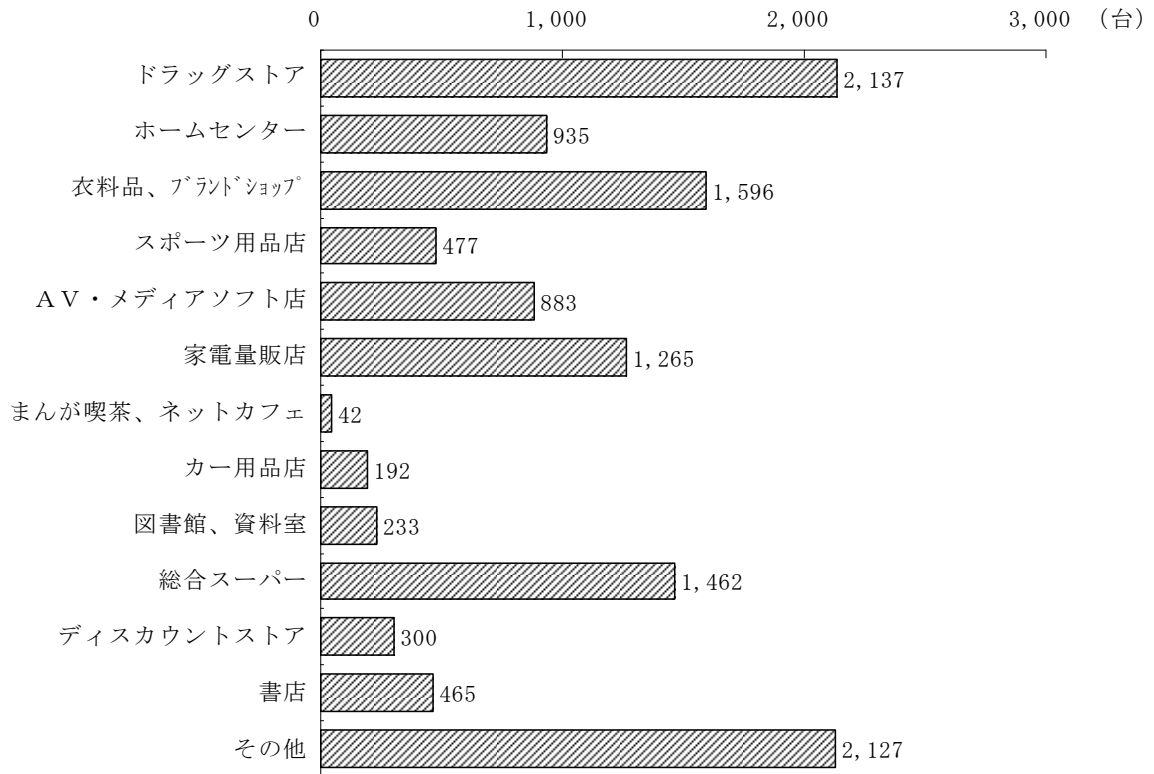
<2008 年度からの推移>

- 「家電量販店」が大きく減少しており、2008 年度から平成 2009 年度にかけて半減、さらに 2010 年度は 2 割強の減少となった。「衣料品、ブランドショップ」も、減少が続いている。
- 「ドラッグストア」、「総合スーパー」、「A V ・メディアソフト店」、「書店」、「スポーツ用品店」、「カー用品」は、2009 年度は減少したものの、2010 年度は増加となった。
- 「ホームセンター」、「図書館、資料室」は、2009 年度はわずかに増加したものの、2010 年度は減少となった。
- 「その他」は、2009 年度は増加したものの、2010 年度は半減した。

注：本年度調査で用いた店舗の分類は下記のとおりである。

- | | |
|-------------------|---------------|
| ①ドラッグストア | ⑦まんが喫茶、ネットカフェ |
| ②ホームセンター | ⑧カー用品店 |
| ③衣料品、ブランドショップ | ⑨図書館、資料室 |
| ④スポーツ用品店 | ⑩総合スーパー |
| ⑤A V ・メディアソフト店 | ⑪ディスカウントストア |
| ⑥家電量販店 | ⑫書店 |
| (カメラ・パソコンショップを含む) | ⑬その他 |

図表2 2010年度におけるEAS機器の設置台数（店舗別設置台数）

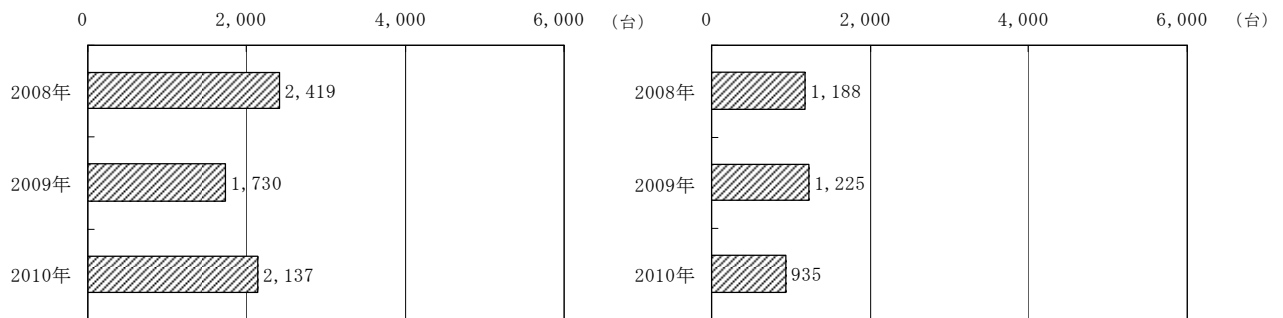


注：「その他」は、CVS、SM、百貨店、時計・アクセサリー、パチンコ、福祉施設、遊技系、メガネ、リサイクル、代理店などである。

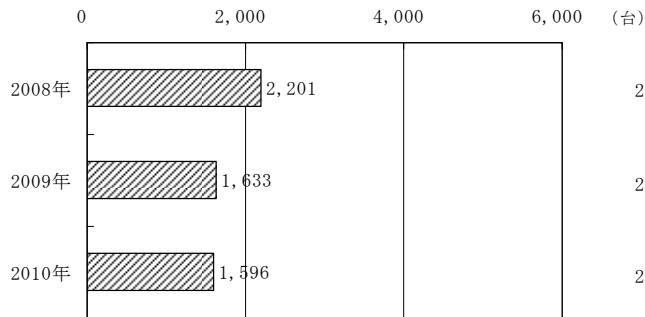
図表3 EAS機器の設置台数（店舗別設置台数）

①ドラッグストア

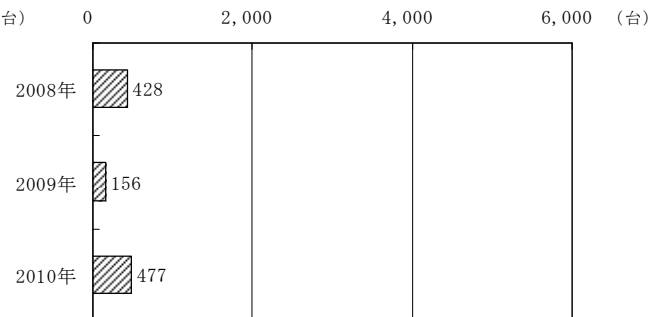
②ホームセンター



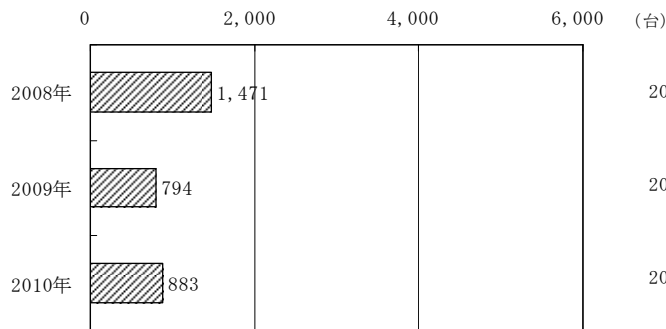
③衣料品、ブランドショップ



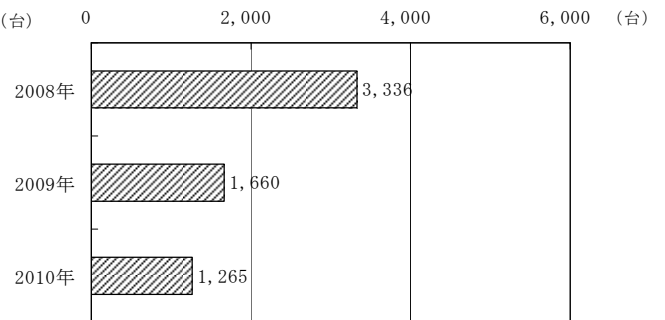
④スポーツ用品店



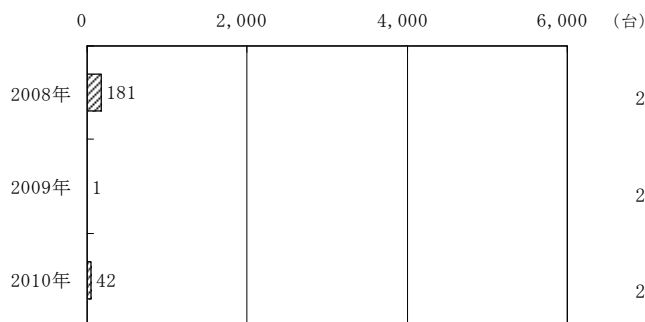
⑤AV・メディアソフト店



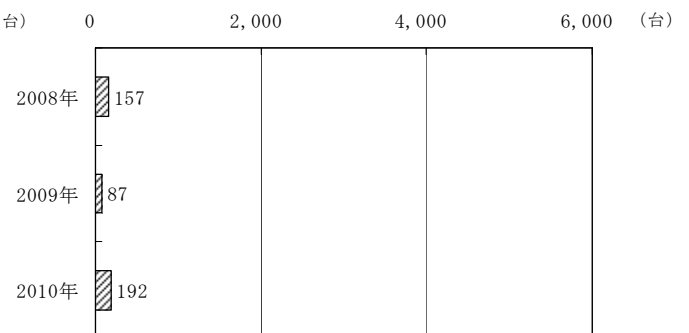
⑥家電量販店 (カメラ・パソコンショップを含む)



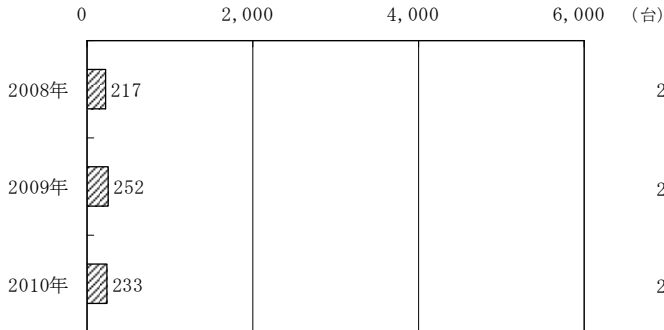
⑦まんが喫茶、ネットカフェ



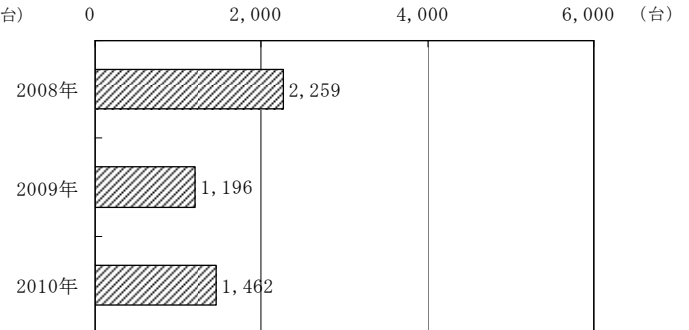
⑧カー用品店



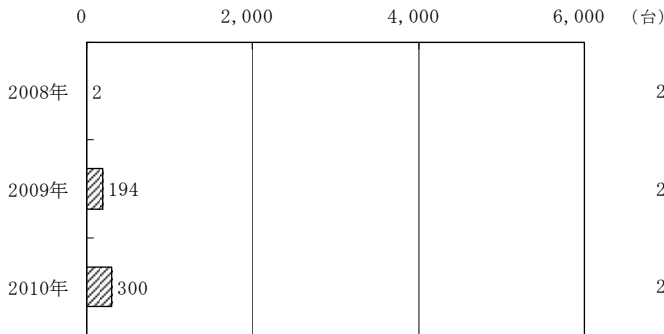
⑨図書館、資料室



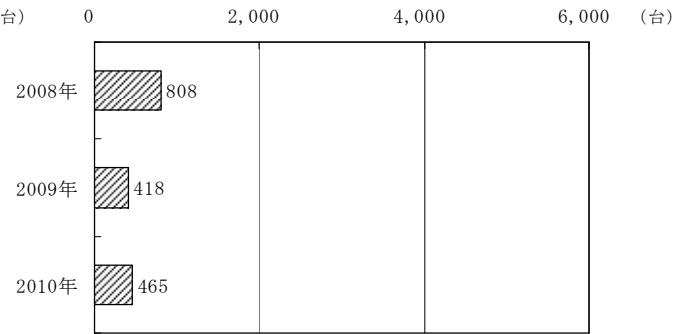
⑩総合スーパー



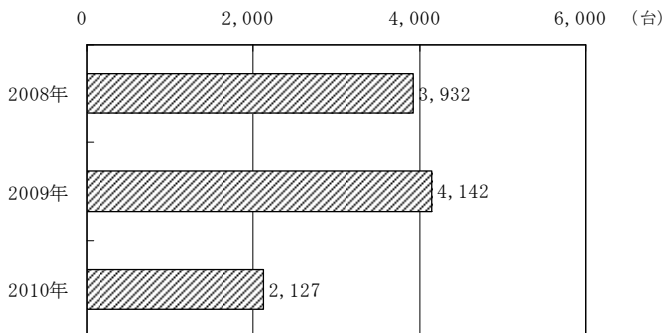
⑪ディスカウントストア



⑫書店



⑬その他



注1：上図の数字をみるにあたり、以下の回答がある点にご留意ください。

- ・2008～2010年度で「カー用品店」を「ホームセンター」に含めて回答。
- ・2006～2008年度で「ディスカウントストア」を「ホームセンター」に含めて回答。

注2：2008年度と2009年度で、店舗別の内訳が無回答なものがあるので、店舗ごとの設置台数の合計が、図表1の設置台数の合計に一致しない。

(2) 店舗別割合

(図表4参照)

<2010年度の状況>

○「ドラッグストア」(17.6%)、「衣料品、ブランドショップ」(13.2%)、「総合スーパー」(12.1%)、「家電量販店」(10.4%)、「ホームセンター」(7.7%)、「AV・メディアソフト店」(7.3%)などの割合が高い。「その他」も2割弱(17.6%)ある。

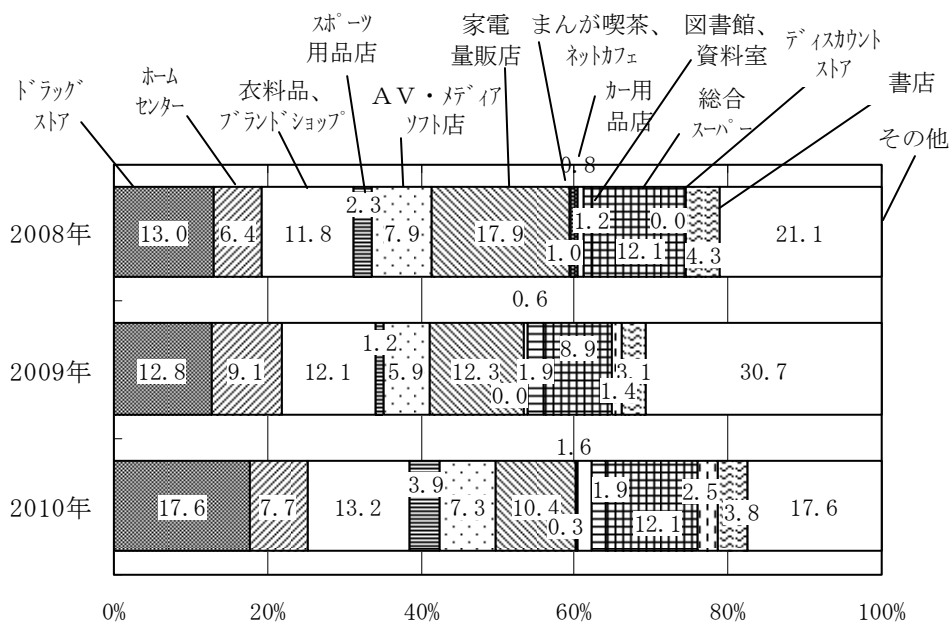
<2008年度からの推移>

○2010年度では、「ドラッグストア」、「衣料品・ブランドショップ」、「AV・メディアソフト店」、「スポーツ用品店」、「図書館、資料室」、「書店」などの割合が増加した。

○「家電量販店」の割合は、2009年度、2010年度と大きく低下している。

○「その他」の割合は、2009年度は大きく増加したが、2010年度は減少した。

図表4 EAS機器の設置台数(店舗別割合)



注：図表3の注1を参照。また、2008年、2009年には、店舗別の内訳が無回答なものがあるので、無回答を除いて構成比を算出した。

3. E A S 機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合）

（図表 5 参照）

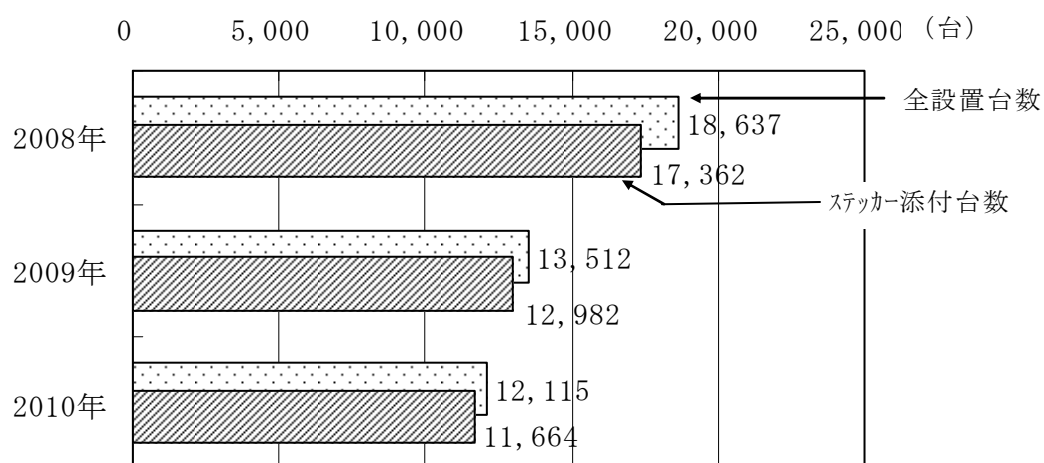
<2010 年度の状況>

○ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数は 11,664 台であり、全設置台数の 96.3%を占めている。

<2008 年度からの推移>

○ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数の割合は、2008 年度が 93.2%、2009 年度が 96.1%、2010 年度が 96.3%と、年々、増加している。

図表 5 ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数とその割合



	2008 年度	2009 年度	2010 年度
ステッカー添付台数 (台)	17,362	12,982	11,664
全設置台数 (台)	18,637	13,512	12,115
ステッカー添付台数の 全設置台数に占める割合 (%)	93.2	96.1	96.3

4. E A S 機器の設置台数（動作方式別設置台数とその割合）

（1）動作方式別設置台数

（図表 6 参照）

<2010 年度の状況>

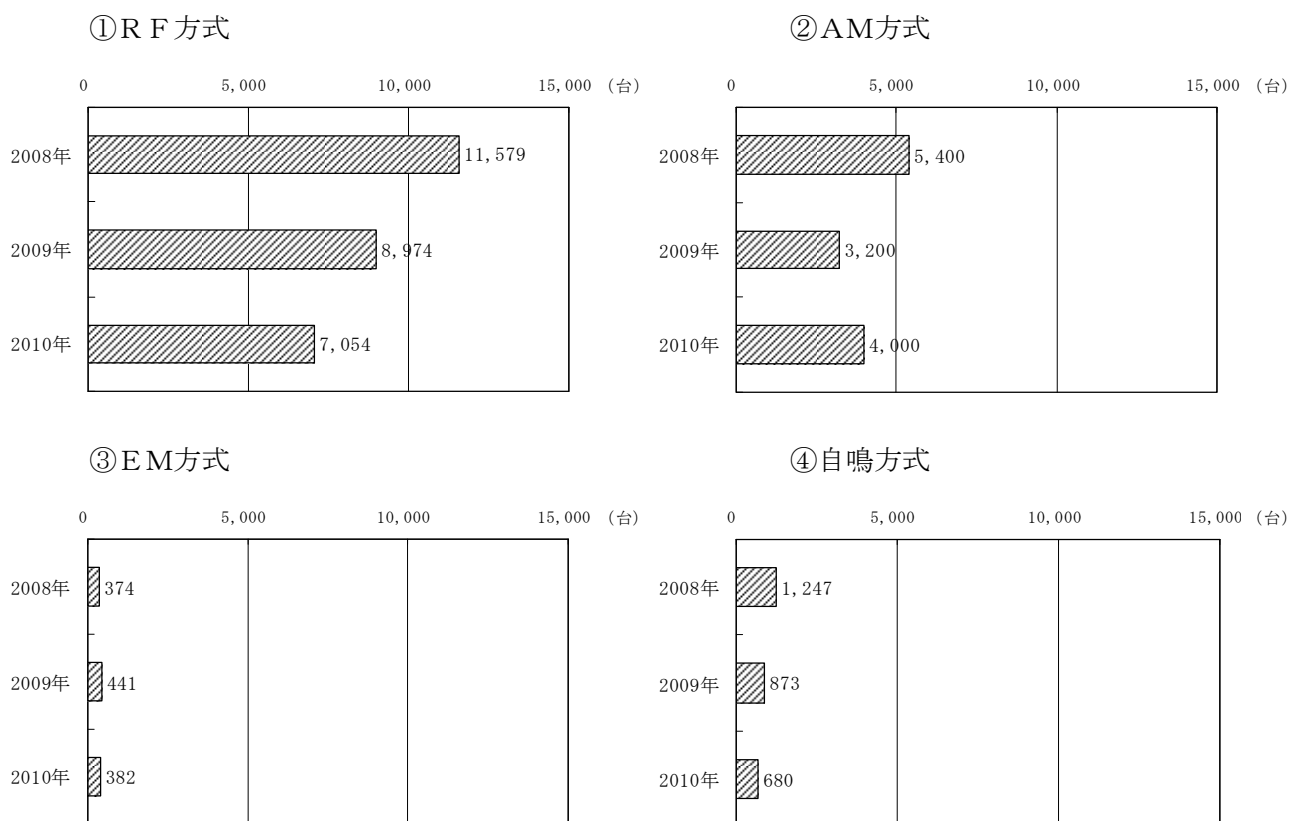
○ E A S 機器の設置台数を動作方式別にみると、最も多いのが「R F 方式」の 7,054 台で、「A M 方式」の 4,000 台が次いでいる。「自鳴方式」は 680 台、「E M 方式」は 382 台と少ない。

<2008 年度からの推移>

○ 「R F 方式」は大きく減少しており、2009 年度が対前年度で 22.5%の減少、2010 年度が 21.4%の減少である。「自鳴方式」も減少している。

○ 「A M 方式」は、2009 年度は減少したものの、2010 年度は増加となった。

図表 6 E A S 機器の設置台数（動作方式別設置台数）



注：2008 年度と 2009 年度で、動作方式別の内訳が無回答なものがあるので、動作方式ごとの設置台数の合計が、図表 1 の設置台数の合計に一致しない。

(2) 動作方式別割合

(図表7 参照)

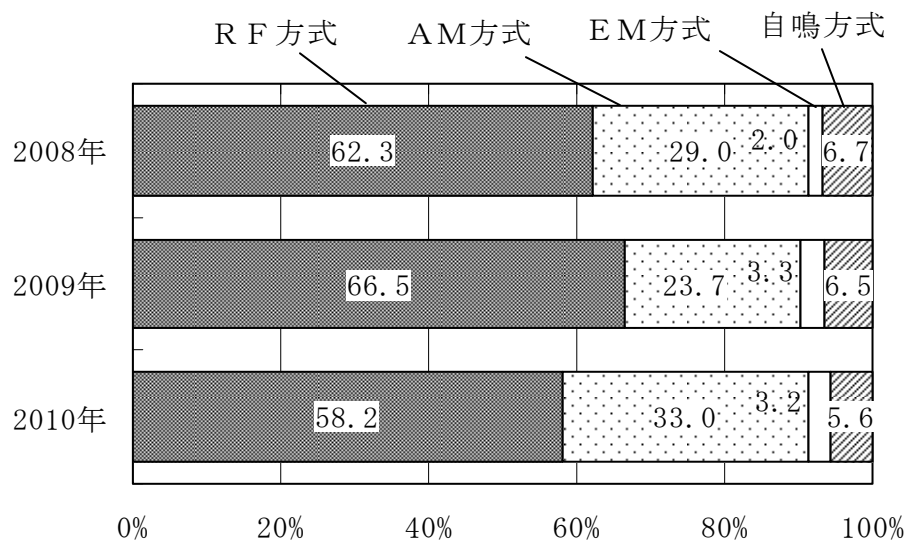
<2010年度の状況>

○動作方式別にみた設置台数の割合をみると、「RF方式」が全体の約6割(58.2%)を占める。「AM方式」は33.0%、「自鳴方式」は5.6%、「EM方式」は3.2%である。

<2008年度からの推移>

○「RF方式」の割合は、2009年度に高まったものの、2010年度は低下した。逆に「AM方式」の割合は、2009年度に低下したものの、2010年度は増加となった。「自鳴方式」の割合は、緩やかな減少が続いている。

図表7 EAS機器の設置台数(動作方式別割合)



注：2008年、2009年には、動作方式別の内訳が無回答なものがあるので、無回答を除いて構成比を算出した。

5. E A S タグの出荷数量

(図表 8 参照)

<2010 年度の状況>

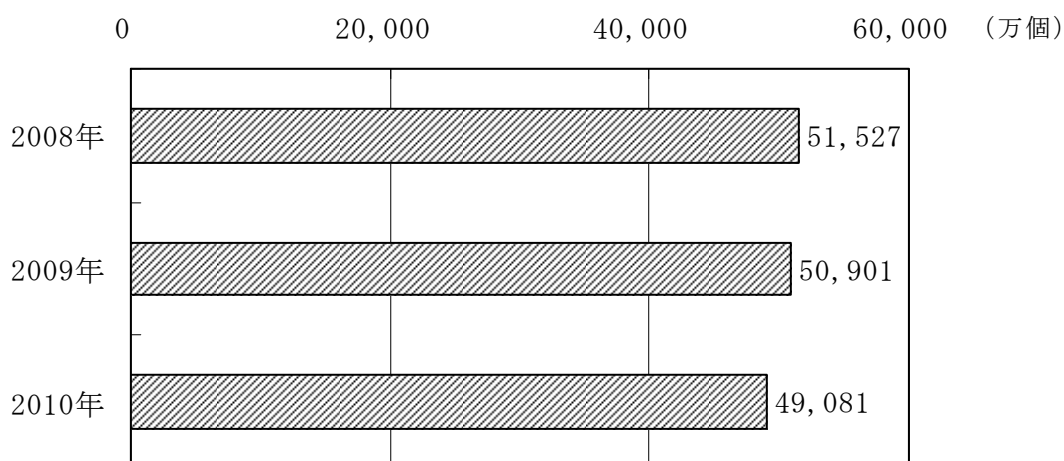
○2010 年度の E A S タグの出荷数量は 4 億 9,081 万個である。

<2008 年度からの推移>

○出荷数量の減少が続いており、2009 年度は対前年で 626 万個の減少、2010 年度は 1,820 万個の減少であった。

○伸び率でみると、2009 年度は 1.2%の減少、2010 年度は 3.6%の減少である。

図表 8 E A S タグの出荷数量



< E A S タグの出荷数量及び伸び率 >

	2008 年度	2009 年度	2010 年度
出荷数量 (万円)	51,527	50,901	49,081
伸び率※ (%)	-	▲1.2	▲3.6

※伸び率 = (当年度出荷数量 ÷ 前年度出荷数量 - 1) × 100

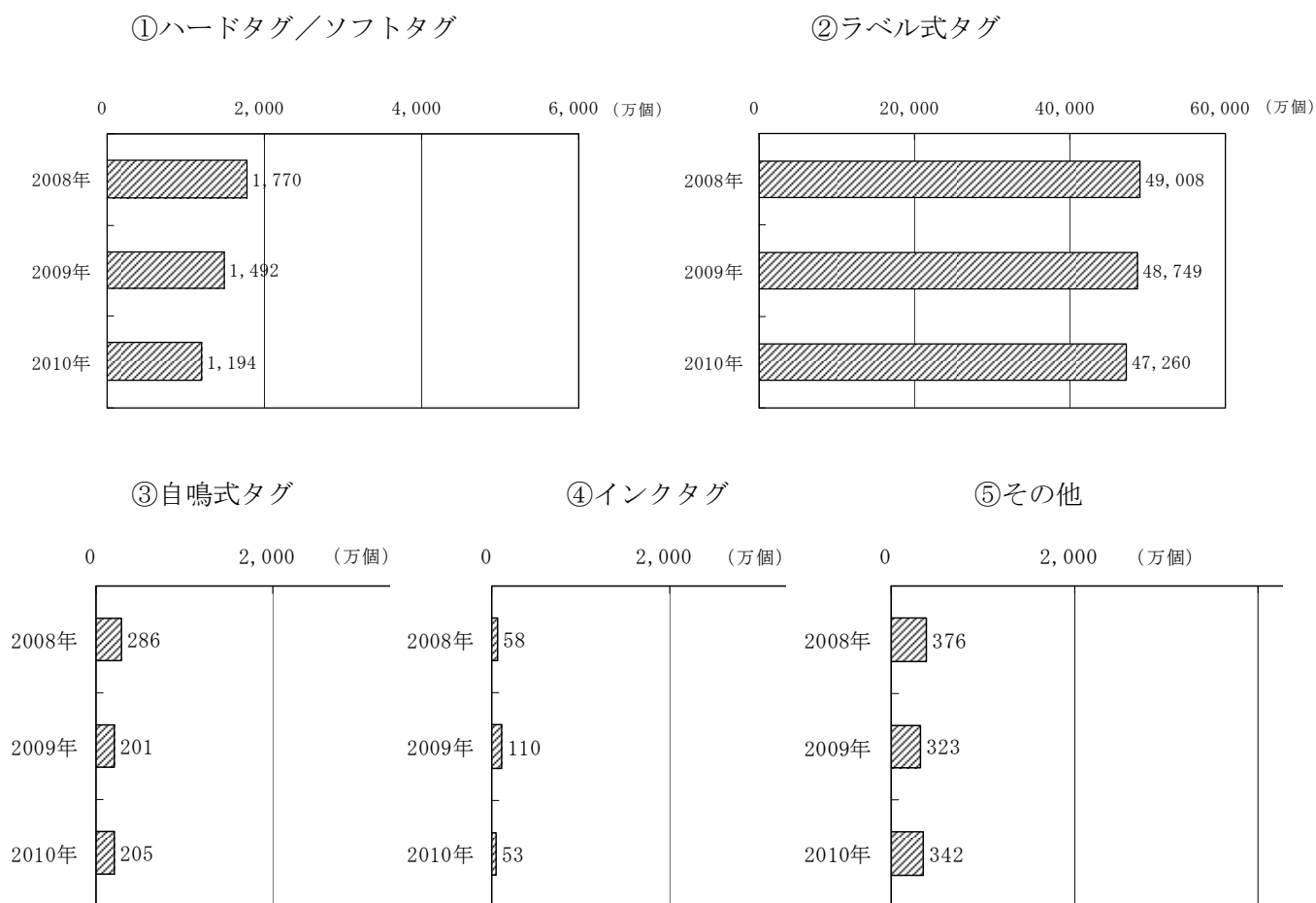
6. EASタグの出荷数量（種類別出荷数量とその割合）

（1）種類別出荷数量

（図表9参照）

<p><2010年度の状況></p> <p>○種類別に出荷数量をみると、「ラベル式タグ」が4億7,260万個と圧倒的に多く、次いで「ハードタグ／ソフトタグ」の1,194万個、「その他」の342万個、「自鳴式タグ」の205万個、「インクタグ」の53万個となっている。</p> <p><2008年度からの推移></p> <p>○「ラベル式タグ」、「ハードタグ／ソフトタグ」とともに、減少傾向が続いている。</p>
--

図表9 EASタグの出荷数量（種類別出荷数量）



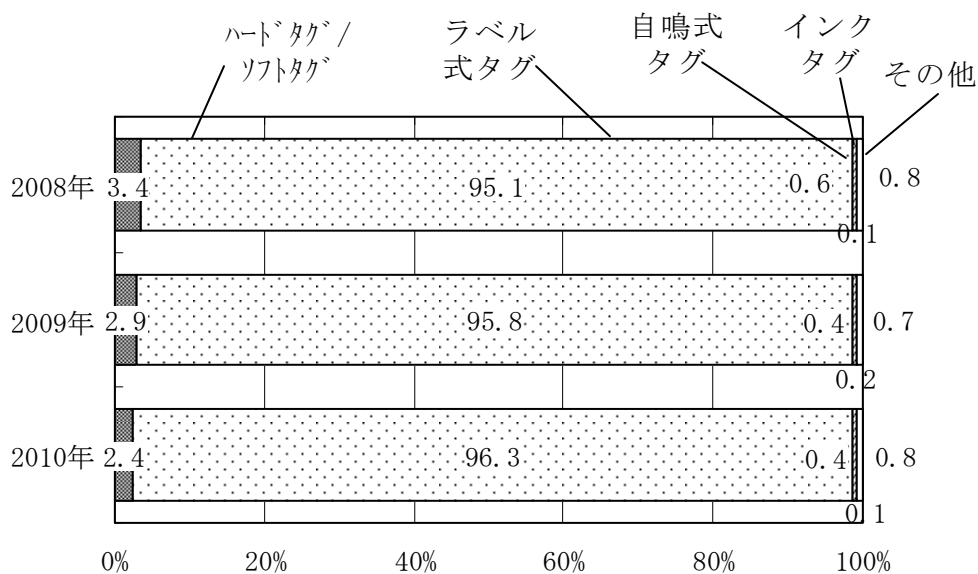
(2) 種類別割合

(図表10参照)

<2010年度の状況>
 ○出荷数量の大半が「ラベル式タグ」であり、全出荷数量の96.3%を占める。「ソフトタグ/ハードタグ」は2.4%、「自鳴式タグ」は0.4%、「インクタグ」は0.1%、「その他」は0.8%である。

<2008年度からの推移>
 ○EASタグの大半を占める「ラベル式タグ」の割合の増加が続く一方、「ハードタグ/ソフトタグ」の割合は減少している。

図表10 EASタグの出荷数量（種類別割合）



7. E A S 機器の出荷金額

(図表 1 1 参照)

<2010 年度の状況>

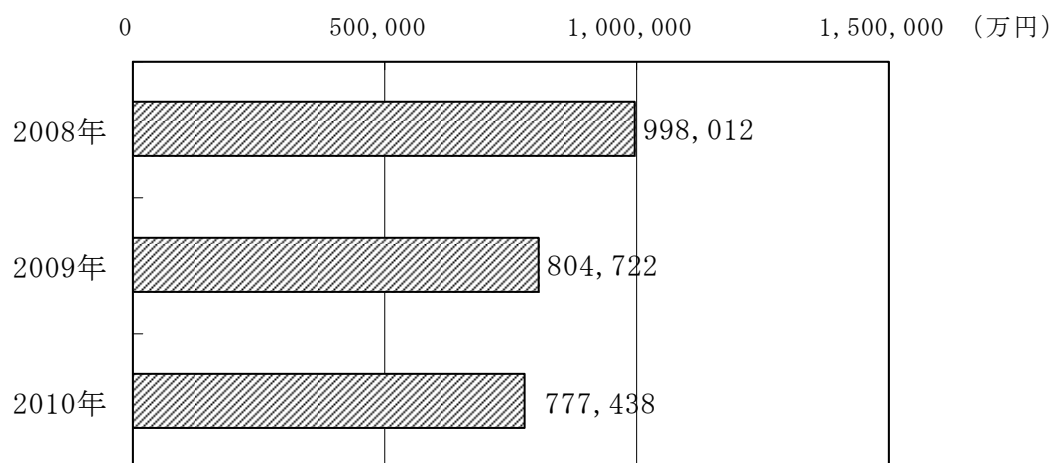
○2010 年度の E A S 機器の出荷金額は 77 億 7,438 万円である。

<2008 年度からの推移>

○ E A S 機器の出荷金額の減少が続いており、2009 年度は前年と比べて 19 億 3,290 万円の減少、2010 年度は 2 億 7,284 万円の減少となった。

○伸び率では、2009 年度が 19.4%の減少、2010 年度が 3.4%の減少である。

図表 1 1 E A S 機器の出荷金額



< E A S 機器の出荷金額及び伸び率 >

	2008 年度	2009 年度	2010 年度
出荷金額 (万円)	998,012	804,722	777,438
伸び率※ (%)	-	▲19.4	▲3.4

※伸び率 = (当年度出荷金額 ÷ 前年度出荷金額 - 1) × 100

8. 保守費の金額

(図表 1 2 参照)

<2010 年度の状況>

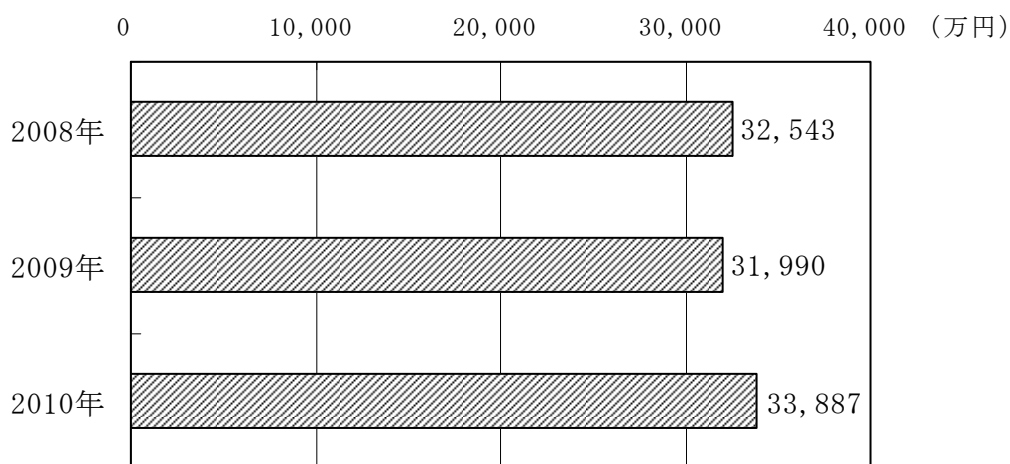
○2010 年度の E A S 機器の出荷金額のうち、保守費は 3 億 3,887 万円であり、出荷金額の 4.4%を占める。

<2008 年度からの推移>

○2008 年度の 3 億 2,543 万円から、2009 年度は 3 億 1,990 万円と微減であったものの、2010 年度は 3 億 3,887 万円と増加した。なお、E A S 機器の出荷金額に占める保守費の割合は、2008 年度が 3.3%、2009 年度が 4.0%、2010 年度が 4.4%と、年々、増加している。

○伸び率は、2009 年度が 1.7%の減少、2010 年度が 5.9%の増加である。

図表 1 2 保守費の金額



<保守費の金額及び伸び率、E A S 機器の出荷金額に占める保守費の割合>

	2008 年度	2009 年度	2010 年度
保守費 (万円)	32,543	31,990	33,887
伸び率※ (%)	-	▲1.7	5.9
【参考】 E A S 機器の出荷金額に占める保守費の割合 (%)	3.3	4.0	4.4

※伸び率 = (当年度出荷金額 ÷ 前年度出荷金額 - 1) × 100

9. ケーブル式盗難防止機器の出荷金額

(図表 1 3 参照)

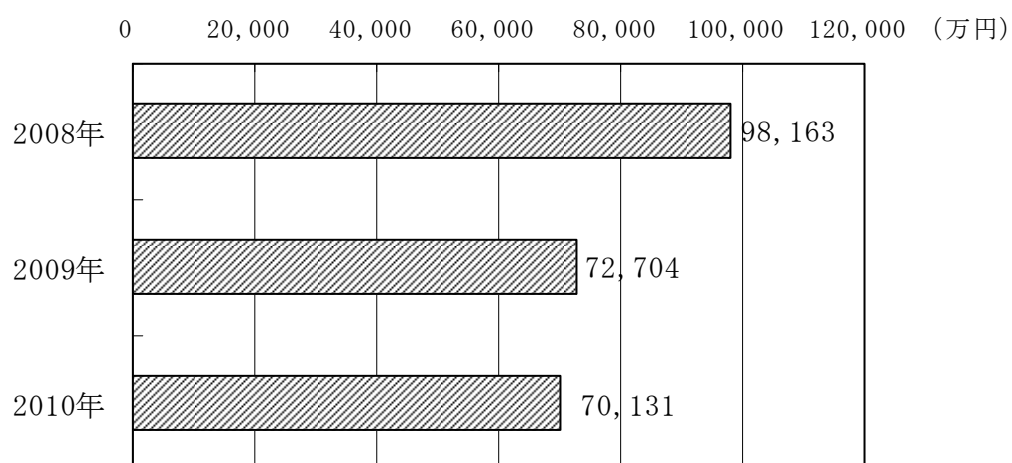
<2010 年度の状況>

○2010 年度のケーブル式盗難防止機器の出荷金額は 7 億 131 万円である。

<2008 年度からの推移>

○出荷金額は年々減少しており、伸び率は、2009 年度が 25.9%の減少、2010 年度が 3.5%の減少である。

図表 1 3 ケーブル式盗難防止機器の出荷金額



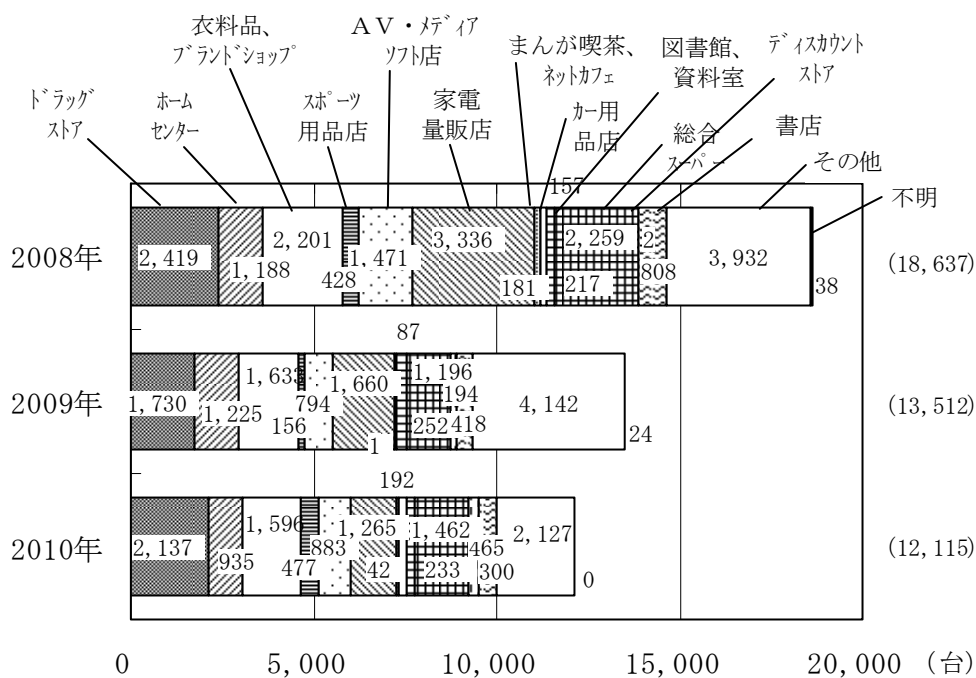
<ケーブル式盗難防止機器の出荷金額及び伸び率>

	2008 年度	2009 年度	2010 年度
出荷金額 (万円)	98,163	72,704	70,131
伸び率※ (%)	-	▲25.9	▲3.5

※伸び率 = (当年度出荷金額 ÷ 前年度出荷金額 - 1) × 100

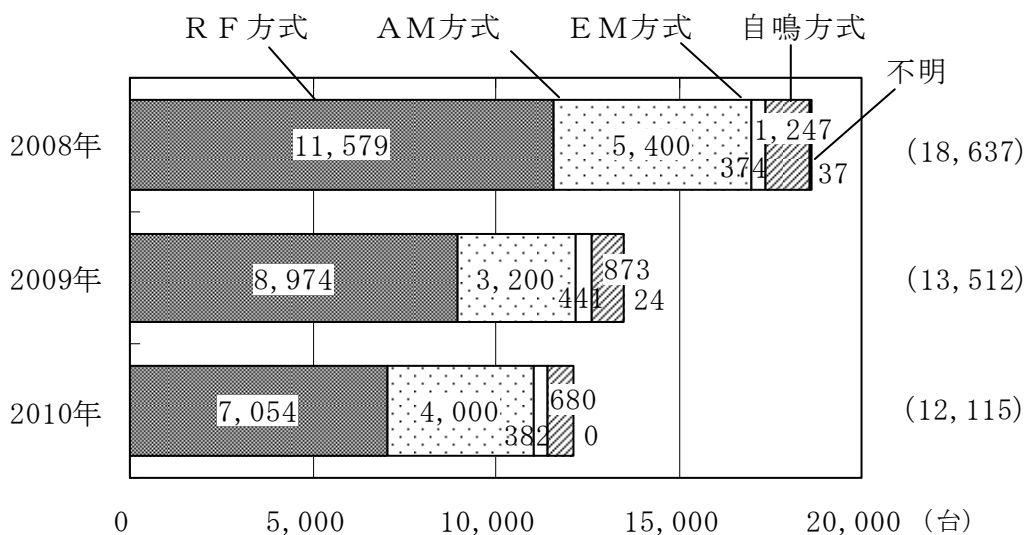
[資 料]

参考図1 EAS機器の設置台数（全体・店舗別）



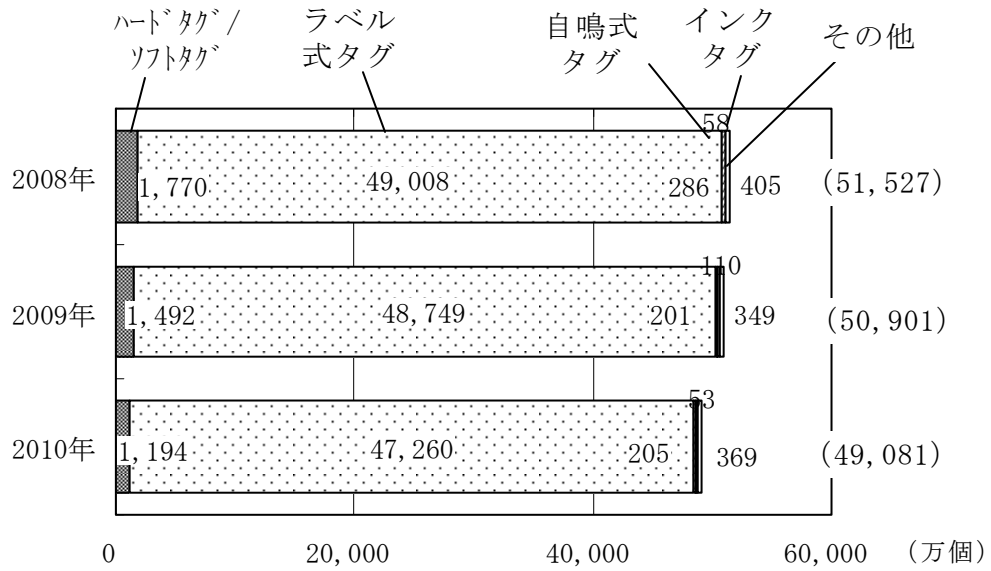
注：（ ）内の数値は全体の設置台数。
店舗別の内訳がないものは「不明」とした。

参考図2 EAS機器の設置台数（全体・動作方式別）



注：（ ）内の数値は全体の設置台数。
動作方式別の内訳がないものは「不明」とした。

参考図3 EASタグの出荷数量（全体・種類別）



注：（ ）内の数値は全体の出荷数量。

2010 年度

EAS機器の市場規模に関するアンケート

2011 年 1 月

— <ご記入にあたって> —

- 本アンケートでは、貴社の 2010 年 1 月～2010 年 12 月の実績を基に数値を記入してください。

これまで本アンケートでは、各社の決算月に合わせて、決算数値をご記入頂いておりましたが、本年度よりデータの整合性を高め、直近の市場状況を把握する為に対象期間を上記のように変更させて頂きました。

- 2008 年度、2009 年度についても併せて 1 月～12 月の実績を基に数値を記入してください。
- ご回答のほとんどが数字をお尋ねするものです。指示にしたがって数字を記入してください。ご記入は黒のボールペンまたは鉛筆でお願い致します。
- 記入済の調査票は、同封の返信用封筒に入れて ご投函ください。
- ご投函は 2011 年 1 月 28 日(金)まで をお願いいたします。
- 調査で集められたデータは EAS 機器の市場規模を把握するためにのみ使用され、他の目的に使用されることはございません。
- この調査票についてご不明の点がございましたら、下記担当者までお問い合わせください。

【調査の主旨に関して】 調査企画： 日本EAS機器協議会
電話番号： 03-3355-2322
担当者： 佐久間 博之

【アンケートの記入方法に関して】

調査機関： (社)日本リサーチ総合研究所
電話番号： 03-5216-7313
担当者： 桜井 昭

本アンケートでは、貴社で製造販売している「EAS(Electronic Article Surveillance:電子商品監視)機器」の設置台数、出荷金額等についてお伺いしています。

設置台数等のご記入にあたり、次の点にご留意をお願いします。

1. メーカーまたは(海外製品の)マスターディストリビューターのエンドユーザーへの設置台数をカウントしてください。
2. 天井式、マット式、ゲート式とも、ゲート(アンテナ)1機につき1台とカウントしてください。例えば、ゲート式の場合は設置個所(出入り口)が1箇所でもゲートが2本の場合は2台、3本の場合は3台、4本の場合は4台とカウントします。

問1 貴社で製造販売しているEAS機器の設置台数についてお伺いします。

貴社では、2010年度において、EAS機器を何台設置しましたか。数字をご記入ください。

調査対象期間の変更に伴い、改めて2008年、2009年の数値もご記入ください。
ご参考までに、昨年度のアンケートにご協力頂いた企業様には、2007年度、2008年度の数値を記入した資料を別紙にて添付させていただきます。
(問2以降の設問につきましても、同様の処理をお願い致します。)

	2008年度	2009年度	2010年度(※)
設置台数	<input type="text"/> 台	<input type="text"/> 台	<input type="text"/> 台

※ 各年度の1月～12月の数値を用いてください。

2008年度 2008年1月～2008年12月の数字

2009年度 2009年1月～2009年12月の数字

2010年度 2010年1月～2010年12月の数字

問2 問1でお答え頂いたEAS機器の設置台数を用いてお答えください。

(1) 2010年度について、問1でお答え頂いた設置台数を100%として、①～⑬の設置店舗別におおよその割合を記入してください。

	2008年度	2009年度	2010年度
① ドラッグストア	%	%	%
② ホームセンター	%	%	%
③ 衣料品、 ブランドショップ	%	%	%
④ スポーツ用品店	%	%	%
⑤ AV・メディア ソフト店	%	%	%
⑥ 家電量販店 〔カメラ・パソコン ショップを含む〕	%	%	%
⑦ まんが喫茶、 ネットカフェ	%	%	%
⑧ カー用品店	%	%	%
⑨ 図書館、資料室	%	%	%
⑩ 総合スーパー	%	%	%
⑪ ディスカウントストア	%	%	%
⑫ 書店	%	%	%
⑬ その他	%	%	%
合計	100%	100%	100%

①～⑬の合計が100%となります。

その他の内容をお書きください。(例)コンビニ、酒屋、宝飾店など

(2) 2010 年度について、問1でお答え頂いた設置台数を 100%として、EAS機器設置表示ステッカーが付いている機器のおおよその割合を記入してください。

	2008年度	2009年度	2010年度
ステッカー貼付台数	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %



問3 2010 年度について、問1でお答え頂いた設置台数を 100%として、①～④の動作方式別におおよその割合を記入してください。

	2008年度	2009年度	2010年度
① RF方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
② AM方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
③ EM方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
④ 自鳴方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
合計	100%	100%	100%

①～④の合計が100%となります。

問4 【EAS 機器のメーカーまたは輸入製品のマスターディストリビューターの方のみお答えください。】

- (1) 2010 年度における、貴社における EAS タグの出荷数量をご記入ください。
 (2) 2010 年度について、(1)でお答え頂いた EAS タグの出荷数量の種類別にみた内訳を、①～⑤の種類別にご記入ください。

	2008年度	2009年度	2010年度
(1)出荷数量 合計	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
(2)種類別の出荷数量	(内訳)		
① ハードタグ/ ソフトタグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
② ラベル式タグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
③ 自鳴式タグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
④ インクタグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
⑤ その他	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個

①～⑤の合計が、(1)出荷数量に等しくなるようにしてください。

問5 【EAS 機器のメーカーまたは輸入製品のマスターディストリビューターの方のみお答えください。】

2010 年度の貴社の EAS 機器の売上(出荷金額)をご記入ください。

※ 「EAS 機器の売上(出荷金額)」は、カメラ関係を除くEAS本体、同工事費、同保守費、タグの売上の合計金額としてください。

	2008年度	2009年度	2010年度
EAS 機器売上	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円

単位を「万円」としておりますので、ご注意ください。

上記のEAS機器の売上のうちで保守費の金額をご記入ください。

	2008年度	2009年度	2010年度
保守費 売上	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円

問6【ケーブル式盗難防止機器のメーカーまたは輸入製品のマスターディストリビューターの方のみお答えください。】

2010年度の貴社のケーブル式盗難防止機器の売上(出荷金額)をご記入ください。

※ 機器の売上(出荷金額)は、機器、同設置費および保守費の売上の合計金額としてください。

2008年度 2009年度 2010年度

機器売上 万円 万円 万円

単位を「万円」としておりますので、ご注意ください。

問7 日本EAS機器協議会に対して、ご要望、ご意見があればお書きください。

.....

差し支えなければ、お名前と連絡先等のご記入をお願いいたします。(記入漏れなどがあった場合、内容の確認をさせて頂くためのものです。集計の対象にはいたしません。)

会社名		部署名	
お名前		電話番号	

~~~ ご協力、どうもありがとうございました ~~~

2010年度

**EAS 機器の市場規模に関する調査報告書**

平成23年6月発行

**日本 EAS 機器協議会**

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-2-8 中村ビル

TEL : 03-3355-2322 FAX : 03-3355-2344

URL : <http://www.jeas.gr.jp/>